

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 杉本建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		基本理念、会社方針、社是・社訓を全拠点に掲示し毎朝の朝礼時に唱和している。必要なものは必ず明文化し社内報や社内イントラなどで共有を図っている。									8	9									17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		コンプライアンス対応方針や社内体制、対応フローなどを、社内及び外部機関にも設けている。関連法令や評価表を一覧にし法令に準拠した対応を行っている。																		16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		当社は「CSR基本方針」をHPなどに掲げ全てのステークホルダーを重視した事業活動を行い地域環境、地域社会の持続可能な発展に貢献している。上記内容は定期的に社員教育と事例の共有を図っている。											10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		コンプライアンス対応方針や社内体制、対応フローなどを、社内及び外部機関にも設けている。関連法令や評価表を一覧にし法令に準拠した対応を行っている。																				16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許、商標など知的財産に関する事案については、弁理士などのリーガルチェックを必ず実施し適切な対応に努めている。									8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		メーカー、業界指導の基「プライバシーポリシー」を公開し広く個人情報保護の重要性を認識し社内対応を図っている。定期的なeラーニングで教育を徹底している。																			16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引仕入先とは公正取引委員会の指導(下請法)に準拠した基本契約の基、適正な取引を行い定期的な情報共有、価格調整を行い下請事業者の利益保護に努めている。																			16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		「杉本建設安全協議会」を作り、元請け、下請けの適正な関係性を認識共有している。年一回親睦会も行い、お互いの意見交換も固くならずに言える形を作っている。					5					8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		国や熊本県、阿蘇市と防災協定を結び緊急時連絡網をもとに訓練を実施している。また現在、事業継続力強化計画を申請中であり認定企業を7月中に取得予定である。【予定】取得後は毎年それを維持していく。											9			11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		全てに差別のない対応をするよう社内体制を整備している。障がい、LGBT、女性、高齢者などといった多様性を尊重したうえで雇用などを行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8			10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		作業中の事故ゼロを目指した取り組みや労働環境を良くして労働負傷者を出さない取り組みを展開中。腰痛防止ツール、安全作業の工程マニュアルの整備などを行っている。				3				8.8													
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		就業規則において公正を保つよう実施している。賃金・人事評価・職能・職務基準など年一回以上、役員等で見直し様になっている。					5.5				8.5			10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業の事前申請により、長時間労働の削減を進めるとともに、年内有給休暇取得率30%を目標に、上司が積極的に有給休暇を取得し、部下にも取得を奨励している。また、社員の資格取得支援を積極的に行っている。				3	5.5			8.5 8.8			10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		基本理念からなる会社方針と社是・社訓をもとに資格、評価、報酬、教育を連動させ人材に合わせたステップアップPGを進めている。建設系国家資格については会社で受験料全部、事前講習一部の資格取得支援を行っている。				4	5.5			8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		健康経営優良法人 2020年認定取得。(協会けんぽ) 社内に健康づくり担当者を設置し、従業員の健康課題を把握、及び定期健康診断100%受診を目指し、未受診者に対しては、早期に受診するように、適切な受診勧奨を行っている。またインフルエンザ等の予防接種を推進している。				3				8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性・外国人・障がい者・高齢者・LGBTなど多様な人材が差別なく気持ちよく働ける環境を整える体制を整備している。高齢者の再雇用は会社雇用の20%に達している。				4.4	5.1 5.5			8.5			10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		新型コロナ等の感染症対策に有効である社内イントラ(富士ゼロックスのビートボックス)を全社員活用している。本社に集まらなくても情報の共有が可能である。				3					8	9.1			11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		新型コロナ等の感染症対策に有効である社内イントラ(富士ゼロックスのビートボックス)を全社員活用している。本社に集まらなくても情報の共有が可能である。									8	9.1			11	12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 杉本建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	2020年 認定企業取得 (熊本県「No19027」)			3	4				8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 杉本建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物はすべて「マニフェスト伝票」を作成し漏れなく管理を行い適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		現在のCO2排出量を簡易計算シートで測ったところ令和2年度は303tでした。【予定】令和3年度は二酸化炭素削減に関する事項(電気、ガソリン、ガス)の前年差マイナス1.5%の目標に取り組む。車の運転はエコドライブに心がける。								7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		現在のCO2排出量を簡易計算シートで測ったところ令和2年度は303tでした。【予定】令和3年度は二酸化炭素削減に関する事項(電気、ガソリン、ガス)の前年差マイナス1.5%の目標に取り組む。車の運転はエコドライブに心がける。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		生態系への配慮を考え古い車の代替えや環境車エコカー使用、またオイル交換5000kmを強力に推進することにより車の故障等による廃棄物を出さないことを事業計画に織り込んで進めている。このような「環境方針」を定め、持続可能な循環型社会の実現を目指し、エネルギー資源の効率化、再利用および再資源化を図り、二酸化炭素の排出量削減に努めることなどを宣言している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		3Rの徹底を図りごみ量そのものを減らす工夫、細かなごみ分別を徹底した取り組みを全社で実施している。プラごみ、焼却ごみを減らす取り組みを強化中。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		ISO14000にて水資源管理を徹底し、本社事務所や本社倉庫、土場倉庫、可能な限りの現場事務所では井戸水の活用をしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6				11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピー用紙は再生紙のみを利用するなど環境に配慮された製品を仕入れ利用している。また、可能な限りデータを使い、紙を使用する際は基本的に両面印刷としている。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		現場で使用する建設機械は国土交通省が認定している低炭素型建設機械を購入し利用している。また今後の重機買替時にも燃費基準値を達成する国交省認定の建設機械を購入予定である。【予定】							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		公益財団法人「肥後の水とみどりの愛護基金」と「阿蘇大観の森」における植樹活動の協定を取り交わし植林活動に参加している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		会社で出るペットボトル等のフタは必ず洗って分別し一年に2回ほど近くのホームセンターに設置してある認定NPO法人「世界の子供にワクチンを日本委員会」に出している。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		営業車や重機等、車検や買い替えの時期にはエコカーや排ガス規制のより厳しいものを購入し会社として環境にやさしい姿勢を目指している。									9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 杉本建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		国土交通省の工事成績優秀企業を平成29年度から令和2年度まで4年連続受賞している。またISO9000認定事業者として品質確保の徹底を行っている。			3.9					9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特設せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		各現場事務所において必ずバリアフリーを採用し、仮設トイレもNETIS登録の物(快適トイレ)を利用。災害時には地域の方へ開放もを行っている。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治体活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本県のロードクリーンボランティアを毎年(2回/1年)行い報告している。また阿蘇土地改良区とのボランティア協定を結んでおり毎年(1回/1年)農道補修などを行い熊本県や土地改良区に報告している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		現在、事業継続力強化計画を申請中である。6月には認定見込み【予定】また2022年・2023年はそこを維持していく。				4							11.5		13.1		16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	国や熊本県、阿蘇市と防災協定を結び緊急時連絡票をもとに訓練を実施している。また社員の中には消防団員に所属している者もいる。5年に1度阿蘇広域消防本部で救急救命(AED)講習を社員に受けさせている。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	当社は「CSR基本方針」をHPなどに掲げ全てのステークホルダーを重視した事業活動を行い地域環境、地域社会の持続可能な発展に貢献している。上記内容は定期的に社員教育と事例の共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	熊本県立高校(阿蘇中央高校、翔陽高校など)のインターンシップを毎年受入れ、学生に職業の学びの場を提供している。				4						8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の生徒、学生を積極的に雇用している。また熊本県内、地域の若者が地元に残り定着できるよう就職ガイダンスや就職説明会に積極的に参加して学生の採用を行っている。					4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	国土交通省管轄の立野ダム工事事務所協賛で、阿蘇中央高校の環境学科の生徒達を対象に、立野ダム見学会と専門家によるダム的重要性の説明会を毎年行っている。		2			4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。